

情報オリンピック通信

NO.2 1995年9月30日
IOI 日本委員会

第7回 国際情報オリンピック (IOI) オランダ大会 日本初の金メダル!!



受賞式の模様

日本選手団 団長 守屋 悦朗

第7回国際情報オリンピック (IOI'95 The 7th International Olimpiad in Informatics) は54ヶ国210名の選手が参加し、6月26日から7月3日にかけて、サッカーで名高いオランダ南部のアイントホーフェンで行われた。日本からは伊藤哲史君 (筑波大学附属駒場高校3年) と、木内哲平君 (桐朋高校2年) が代表選手として守屋団長、原正雄副団長 (東海大学講師) と共に参加した。今年のIOIオランダ大会は、日本にとって初の金メダル獲得という大目標を達成した大会であった。昨年のスウェーデン大会では銀メダルであった伊藤君は、「今年はメダルの色を変えること」という目標を見事に達成した。

6月26日11時45分に成田を発ち11時間、その日の午後4時半にアムステルダム郊外のスキポール空港に到着。それからバスで約2時間、アイントホーフェン市内にあるフィリップス社の能力センターに到着したのは夕方7時半頃であった。6時から始まった開会式はすでに終了し、立食式の夕食が始まっていた。我々も夕食を取りながら各国のチームリーダー達と歓談した後、宿舎となるキャンプ村に移動したのが10時半頃であった。9時頃までは明るかったものの、さすがにこの頃は薄暗い。

翌2日目は遠足の日であった。朝7時半にロッジに届けられた朝食はパンと薄切りハムとチーズ。午前中は、生徒達はボートツアーのためアムステルダムへ。リーダー達はミーティングのため競技会場となるTUE (Technical University of Eindhoven) に向かう。午後はアムステルダム

の市内観光。国立博物館には有名なレンブラントの大作「夜警」はじめ膨大な量の絵画、彫刻、陶磁器、家具、調度品等が陳列されていて素晴らしかった。

3日目の6月28日は競技第1日である。7時から問題選定会議が始まった。1、2問は例年通りの問題であった。問3についてはいろいろと問題があった。

6月29日はロッテルダムへの遠足で、午前中学生徒達はボートツアー、リーダー達はミーティングで採点。午後は、野球見物。夕方再びアイントホーフェンに戻り、6時半から郡庁舎で「びっくりダイナートーク」に出席した。講演者はかの有名なダイクストラ教授 (現テキサス大学、かつてTUEの教授) であった。もはやあまり若くはないこの老教授はゆったりとした口調でコンピューターサイエンスとは何かについて歴史を紐解く形で講演した。

翌日は競技第2日である。問題数は昨年と同様な3問であった。

7月1日は初めて朝もゆっくりできた。11時からリーダー達はミーティング。午後はサイエンスフェアの見学で、TUEのメインビルディングで世界最大のコンピューターゲーム「ホットボール」が行われるという。ギネスブックに挑戦するのだそうだ。二百数十台のコンピューターとスクリーンを縦横に積み重ねて、二百数十人がジョイスティック持って同時参加するリアルタイムマルチューザゲームであるという。伊藤君も木内君も参加した。その後、生徒達はTUEでバーベキューを楽しみ、リーダー達は4時からのミーティングで受賞者を決定し全員ほっとしてデ

イナーのためにベルギーへ向かう。

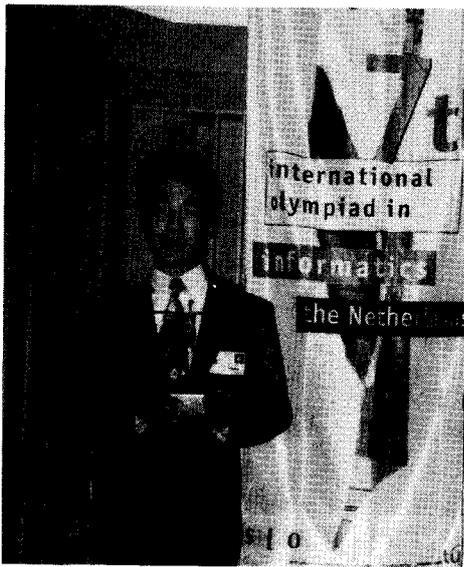
いよいよ7月3日の夕方は閉会式である。表彰式は5時半からフィリップス社のミュージックセンターで行われた。銅メダルの授与者は大会運営委員長のKock氏であった。一人一人と握手し、全員に声をかけているのは好感が持てた。木内君は銅メダルであった。伊藤君の金メダルは210人中第4位で日本初の金メダルとなった。

IOI '96 ハンガリー大会を目指す生徒諸君、世界中の

コンピューターを愛好する仲間達と友達になり、日本とは違ういろんな世界を体験出来るものと思う。去年のスウェーデンもおととしのアルゼンチンも今年とはまた違っていった。来年のハンガリーでは、更に異なる驚きに会えることであろう。多勢の生徒諸君の挑戦を期待したい。

もりや えつろう
(早稲田大学教育学部教授)

IOI オランダ大会日本代表選手からのメッセージ



伊藤君 大健闘
210人中4位で金メダル!!!

伊藤 哲史

金メダルをとる七つの方法

>試験中はトイレに行くこと

何やら冗談のようですが本当です。去年も今年も試験会場では全く解けなかった問題がトイレの中でぱっとひらめき解けたことがあります。トイレに行く時間がないと言う人がいますがそういう人は試験時間中に極度に緊張して頭がまともに働いていない(よって結果も悪い)ことがあるようです(経験談)。トイレなしでの金メダルなど絶対に無理だと言っても過言ではありません。

>問題を捨てないこと

難しいとは思いますが、完答でなくても部分点を稼ぐことはできるでしょう。今年、一問をを完全に間違えた金メダリストがいますがその人はほかの問題はすべて満点でした。

>最後の五分間は何もやらないこと

正しいプログラムを実行形式で提出しなければいけませんので、最後の五分間は出力が正しいかどうかの確認に使ってください。出力を間違えると零点です。

>各国選手と交流すること

IOIは競技だけが目的ではありません。観光などにも時間は大量に割り当てられているので活用してください。競技に集中すると称して交流に集中できないようでは本末転

倒です。

>国内の予選本選の結果は気にしないこと

そもそも問題の形式が違うのですから、そのようなことは代表になったらさっぱり忘れてしましましょう。

>運がよいこと

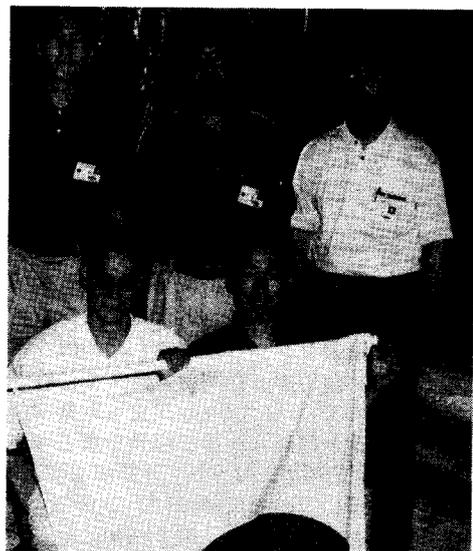
こればかりは、GOOD LUCK! としか言いようがありません。

>IOIをたのしむこと

とにかく金メダルなど結果にすぎません。何はともあれ楽しんでください。そうすればきっとよい思い出になるでしょう。

木内 哲平

今回のオリンピックはオランダで開かれました。着いてすぐ気付いた事は、昼間が長く=夜が短い事です。賞はあきらめていたので、銅賞をもらえた時にはびっくりしました。交流についてもあまり自信がなかったのですが、むこうもこちらと同じく交流をしたがっているということがわかってからはかなりうまくいきました。特にコンテスト終了後は、皆競ってアドレスの交換や写真撮影等をしていました。各国選手にあげるおみやげの他、名前や住所等を書いた紙を沢山持っていくと便利なようです。



日本チーム 左より、
木内君、原副団長、守屋団長
ガイド、伊藤君

第2回 日本情報オリンピック結果報告

○第2回日本情報オリンピック予選は1995年1月15日、全国62ヶ所の試験会場で行われた。

第2回日本情報オリンピック予選合格者リスト 34名

都道府県	氏名	学校名	学年	都道府県	氏名	学校名	学年
宮城県	戸川 聡士	仙台一高校	2	神奈川県	伊藤 哲史	筑波大学附属駒場高校	2
茨城県	飯嶋 浩光	清真学園高校	1	神奈川県	清木 昌	筑波大学附属駒場中学校	3
栃木県	山地 秀典	栃木県立宇都宮高校	2	神奈川県	手島 啓幾	桐蔭学園高校	2
栃木県	鶴見 雅弘	栃木県立宇都宮高校	2	静岡県	福田 幸二	静岡県立浜松北高校	2
東京都	松山 健吾	筑波大学附属駒場高校	2	愛知県	伊藤 剛志	東海中学校	3
千葉県	坂 敏秀	茗溪学園高校	2	愛知県	立石 知徳	名古屋市立向陽高校	2
埼玉県	辻 俊明	慶應義塾志木高校	1	滋賀県	植村 渉	膳所高校	2
東京都	小林 悠	開成中学校	3	大阪府	早川 楽	大阪府立四条畷高校	2
神奈川県	木内 哲平	桐朋高校	1	大阪府	福林 一平	灘高校	1
東京都	古屋 武史	慶應義塾志木高校	2	大阪府	辻河 亨	灘高校	1
神奈川県	紀平 拓男	麻布中学校	3	大阪府	西尾 泰和	灘中学校	1
茨城県	吉田 弘典	茗溪学園高校	2	広島県	松崎 剛士	広島大学附属高校	2
茨城県	並木 健太郎	茨城県立古河第三高校	1	高知県	矢野 真木人	土佐塾高校	2
神奈川県	山本 修司	桐朋高校	1	福岡県	井上 悠介	久留米大学附設高校	1
東京都	平田 和貴	芝高校	2	福岡県	武藤 大治	筑紫ヶ丘高校	2
埼玉県	源田 敏史	巣鴨高校	2	佐賀県	頼原 桂二郎	弘学館高校	2
神奈川県	長谷 悠滋	開成高校	2	佐賀県	杉山 瑞樹	弘学館高校	1

○予選合格者34名は、2月11日午後1時より5時まで9ヶ所の試験会場で本選に臨み、その結果第2回日本情報オリンピックの成績優秀者として下記の9名が選ばれた。

第2回日本情報オリンピック成績優秀者リスト 9名

賞	氏名	県名	所属校	学年
金賞	飯嶋 浩光	茨城県	清真学園中学校	3年
銀賞	伊藤 剛志	名古屋県	東海中学校	3年
銅賞	伊藤 哲史	神奈川県	筑波大学附属駒場高校	2年
	福田 幸二	静岡県	静岡県立浜松北高校	2年
	長谷 悠滋	神奈川県	開成高校	2年
	松山 健吾	東京都	筑波大学附属駒場高校	2年
	頼原桂二郎	佐賀県	弘学館高校	2年
	山本 修司	東京都	桐朋高校	1年
	木内 哲平	神奈川県	桐朋高校	1年

○第2回日本情報オリンピックの成績優秀者の表彰式は、3月27日(月)午前11時より(財)数学オリンピック財団事務所において行われた。当日はIOI日本委員会協力者の正田 實、成嶋 弘、守屋 悦朗、夜久 竹夫、峯崎 俊哉、西野 哲朗、谷 聖一、佐藤 和孝、野口 廣世話人ならびに父兄等が参列した。成嶋氏の司会で、まず守屋団長より経過報告と成績発表があり、次に上記のように賞状とメダルが野口世話人より授与された。また今回は成績優秀者全員にマイクロソフト社よりMS-Windows 3.1そのほかのソフトが賞品として贈られた。その後、和やかに昼食会がおこなわれた。

○第7回 IOI オランダ大会選手候補者の合宿と選手の決定

IOI日本委員会は第2回日本情報オリンピックの成績優秀者9名を3月26日(日)～4月1日(木)に、国立オリンピック記念青少年総合センターに招待して春の合宿を行い、富士通(株)よりお借りしたノートパソコンを用いて実習を行った。この間に行つた数回のテストの成績およびその後の通信教育の結果等を考慮して4月21日に下記のIOI日本代表選手2名を決定した。

伊藤 哲史	筑波大学附属駒場高校	3年
木内 哲平	桐朋高校	2年



謝辞

IOI 日本委員会は 1995 年 6 月に行われた第 7 回国際情報オリンピック・オランダ大会へ、日本代表選手を派遣するまで、種々の活動の御支援いただき、御寄付を賜りました下記の方々の御協力に心よりなる感謝の意を表します。

日本電気 (株) 殿、(株) アスキー殿、早稲田数学会殿
マイクロソフト (株) 殿、(株) 東芝殿
インテルジャパン (株) 殿、富士通 (株) 殿

お願い

今年度は第 8 回 IOI ハンガリー大会へ向けての事業を開始いたしますが、IOI 日本委員会には基金の備えがなく、活動の資金はすべて篤志個人・法人の御支援に頼らざるを得ない現状であります。何卒日本の情報教育振興のた

めにも当委員会の活動に御賛同下さり、下記へ、何時でも如何程でも結構です、御寄付下さいますようお願い申し上げます。

「あさひ銀行早稲田支店 (306) 普通 1004367 番 IOI 日本委員会」

第 3 回日本情報オリンピックのお知らせ

(第 8 回国際情報オリンピック日本代表候補選抜試験)

第 3 回日本情報オリンピック (予選 1 月 15 日、本選 2 月 11 日) を以下の要領で行います。この日本情報オリンピック本選での上位入賞者には、金、銀、銅メダルが授与され、成績優秀者の中より第 8 回国際情報オリンピック (IOI, International Olympiad in Informatics) ハンガリー大会 (1996 年 7 月 25 日～8 月 2 日) へ派遣する日本代表選手若干名 (4 名以内) が選抜されます。奮ってご参加下さい。

受験資格: 1996 年 8 月上旬に高校・中学かそれ以下の学校 (高専の場合は高校の相当学年) の在学学生 (相当) であり、19 才未満の者

試験範囲: 高校 1 年終了 + α 程度の数学の知識、及び Pascal、C (C++)、Basic (Quick Basic) のどれか一つの言語の基本を知っている必要があります。課題のアルゴリズムを考え

プログラムを作る問題が主ですが、プログラム作成以外の問題も出題されることがあります。ただし、予選、本選はペーパーテストであり、1996 年 3 月に予定されている春の合宿ではパソコンを用品です。

受験料 : 3,000 円

日本代表選手の IOI への参加費用は、開催国及び当委員会が負担。受験料納付者には、前回の日本情報オリンピック予選・本選の問題と解答を送ります。

申込方法: 1995 年 11 月 1 日より 11 月 30 日 (締切日消印有効) の間に、郵便局の青色の振替用紙に左記事項を記入の上、左記口座に振り込んで下さい。

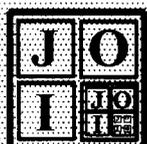
選抜方法等、詳しくは、返信用封筒に 80 円切手を貼って下記へ募集要項を請求して下さい。

口座番号 = 00190-4-763863

加入者名 = IOI 日本委員会

通信欄 = 学校名, 学年, 生年月日, 性別, 希望受験会場名

払込人欄 = 〒番号, 住所, 氏名 (フリガナ), 電話番号



情報オリンピック通信

No.2 1995 年 9 月 30 日発行

編集・発行

〒160 東京都新宿区新宿 6-27-49 協栄生命ビル 6F

IOI 日本委員会

= 国際情報オリンピック日本委員会

Tel 03-5272-9794 Fax 03-5272-9791